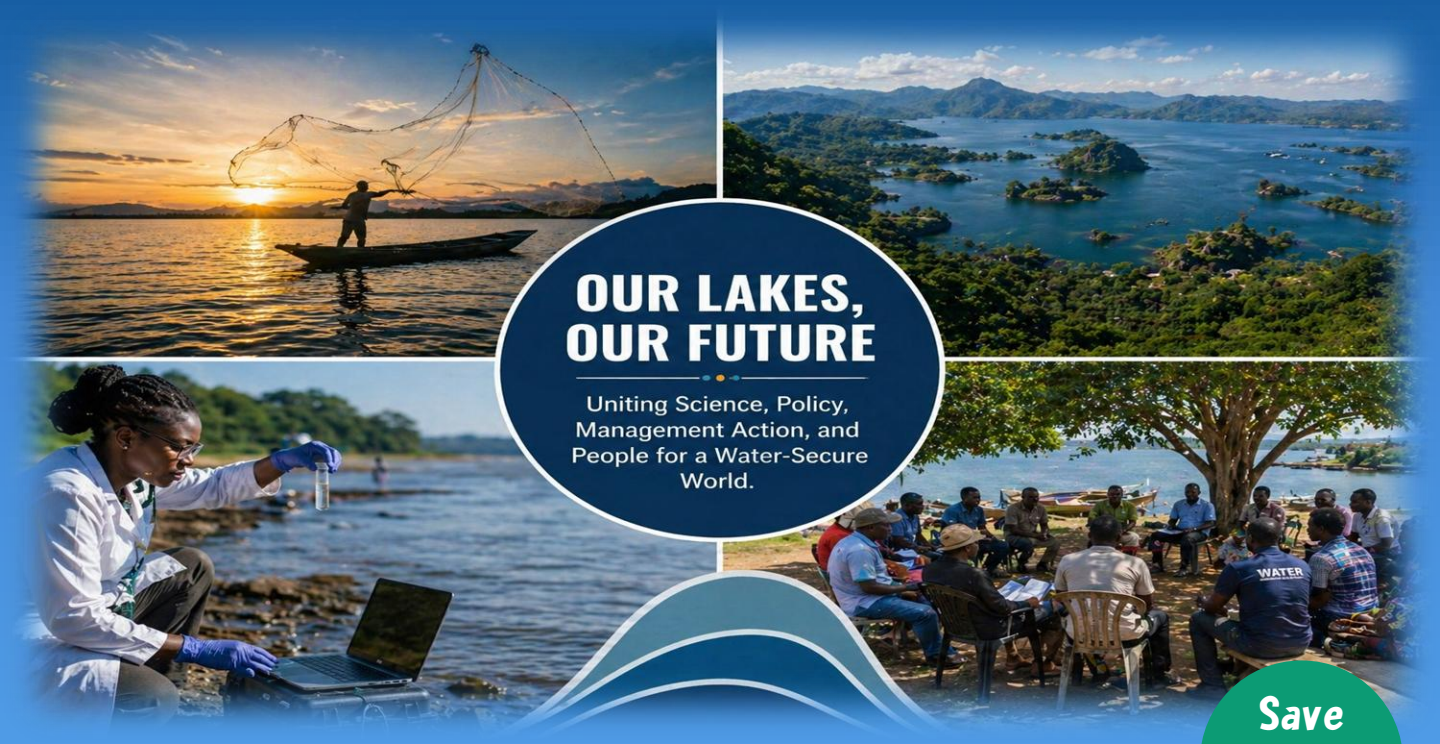
第21回世界湖沼会議

WLC21

The 21st World Lake Conference in Tanzania

～私たちの湖、私たちの未来：科学・政策・実践活動を通し、
水が安定して確保される世界へ～



Save the Date!

会 期 2027年 8月 4日(水)～7日(土)

会 場 マライカビーチリゾート
タンザニア・ムワンザ

主催 タンザニア水研究所
公益財団法人 国際湖沼環境委員会（ILEC）

1 はじめに

湖沼をはじめとする静水域（lentic water systems）は、世界で利用可能な地表水の約90%を貯留しており、地球上で最も重要である一方、非常に脆弱な生態系の一つです。湖沼とその流域は、多くの人々の生計を支え、地域の気候を調整し、生物多様性を維持するとともに、食料や水の供給において重要な役割を果たしています。

しかし、湖沼流域は、不十分な政策、脆弱なガバナンス、不適切な水・土地利用、汚染、外来種、気候変動などにより、急速に劣化しています。湖沼流域の管理が直面する課題は複雑かつ多分野にわたっており、水、環境、農業、産業、エネルギー、鉱業、漁業、畜産、土地、観光、外交など、数多くの分野が関係しています。さらに、その管理主体も、地域コミュニティから、市町村、地方政府、中央政府に至るまで、複数の行政管轄区域にまたがっています。本会議では、湖沼、その流域、およびそれらが支える生態系の持続可能な利用と保全に向けて、パートナーシップを構築し、協働的な行動を促進することを目指します。

第21回世界湖沼会議（WLC21）は、タンザニア水研究所と国際湖沼環境委員会(ILEC)との共催で、2027年8月4日から7日まで、世界で2番目に大きい淡水湖であるビクトリア湖畔、タンザニア・ムワンザのマライカ・ビーチ・リゾートで開催されます。

2 世界湖沼会議（WLC）について

世界湖沼会議は湖沼とその流域のみならず、その他の淡水資源の持続可能な未来を考えるための国際会議です。1984年の第1回開催以降、世界中の学界、政府、市民、NGO、企業など多分野の参加者が意見や経験を交換する場として、世界各地で概ね2年に1度開催されてきました。また、2024年の国連決議で制定された「世界湖沼の日」は、第1回会議の開会日である8月27日に由来しています。

3 WLC21の概要

テーマ

私たちの湖、私たちの未来：
科学・政策・実践活動を通し、水が安定して確保される世界へ
Our Lakes, Our Future: Uniting Science, Policy, Management Action, and People for a Water-Secure World

会議では、水と食料の安全保障において湖沼が果たす重要な役割、ならびに、生物多様性、生計、気候変動への強靭性（レジリエンス）における湖沼の重要性に焦点を当てます。これは、急速に発展するアフリカ大湖地域において特に重要な課題です。

開催地タンザニアのビジョン

1 世界の湖沼の知識と経験を共有

タンザニアの湖沼を含む世界各地の知見・経験を共有する場を提供します。

2 統合的湖沼流域管理（ILBM）の推進

湖沼の生態系保全と持続可能な利用を両立させる統合的湖沼流域管理（ILBM）の普及・実践を推進します。

3 アフリカ・センター・オブ・エクセレンスの構築

タンザニアにおける統合的湖沼流域管理および越境水管理のためのセンター・オブ・エクセレンスの構築を目指します。

会議の主な内容

- ハイレベル・パネル
- 分科会
- ワークショップ
- ユース・プログラム
- ムワンザ宣言の策定

サブテーマ

本会議は、以下の3つのサブテーマで構成されます。

＊各サブテーマに記載している内容は一例であり、これらに限定されるものではありません。

共有資源の管理：統合的な国内・越境湖沼流域管理のアプローチ

- 主権と制度的選択肢
- 法的枠組みと条約、政治的支援
- 資金調達の方法
- オストロム原則の活用
- ILBM戦略
- 先住民・地域固有の管理手法
- 伝統的知識と現代科学の融合
- 科学と政策、管理行動、政治的支援の連携

変化する気候の下での湖沼生態系のモニタリング、評価、再生、持続可能性のための イノベーションと技術

- AIを活用した水質評価・管理
- リアルタイム水質モニタリング、検知・警報システム
- 衛星画像の活用
- 自然を活用した湖沼再生手法
- バイオレメディエーション
- 水文学的再生
- データ管理、モデリング、意思決定支援システム
- 新興汚染物質のモニタリングと分析手法
- 天然資源と生態系サービスの価値評価
- 湖沼からの温室効果ガス（GHG）排出の管理
- 気候変動の影響のモニタリング
- 災害リスク低減

地域コミュニティ、市民社会、若者：人々を中心とした湖沼の管理責任

- 地域コミュニティ、先住民・、若手リーダーの役割
- 公平な資金調達、ジェンダー平等
- 経済活動と湖沼の持続可能な利用の両立（ブルーエコノミー）
- 地域に根ざした環境教育、普及啓発戦略
- 湖沼の多目的利用における環境収容力の評価
- 紛争解決メカニズム
- 湖沼の文化的・精神的価値
- 科学と政策、管理行動、政治的支援の連携
- 地域主導の環境プログラムとその資金調達手段、長期的な支援
- 実践的な市民科学

ムワンザ宣言（Mwanza Declaration）

多様な参加者からの意見を踏まえ、世界の湖沼の持続可能な管理に向けて、国連決議、パリ協定、生物多様性条約（CBD）、SDGsなどを実施するための緊急な行動を促します。

最終日には、世界的に有名なセレンゲティ国立公園へのサファリツアーまたは、ビクトリア湖でのボートトリップのいずれかに参加できます（有料）。